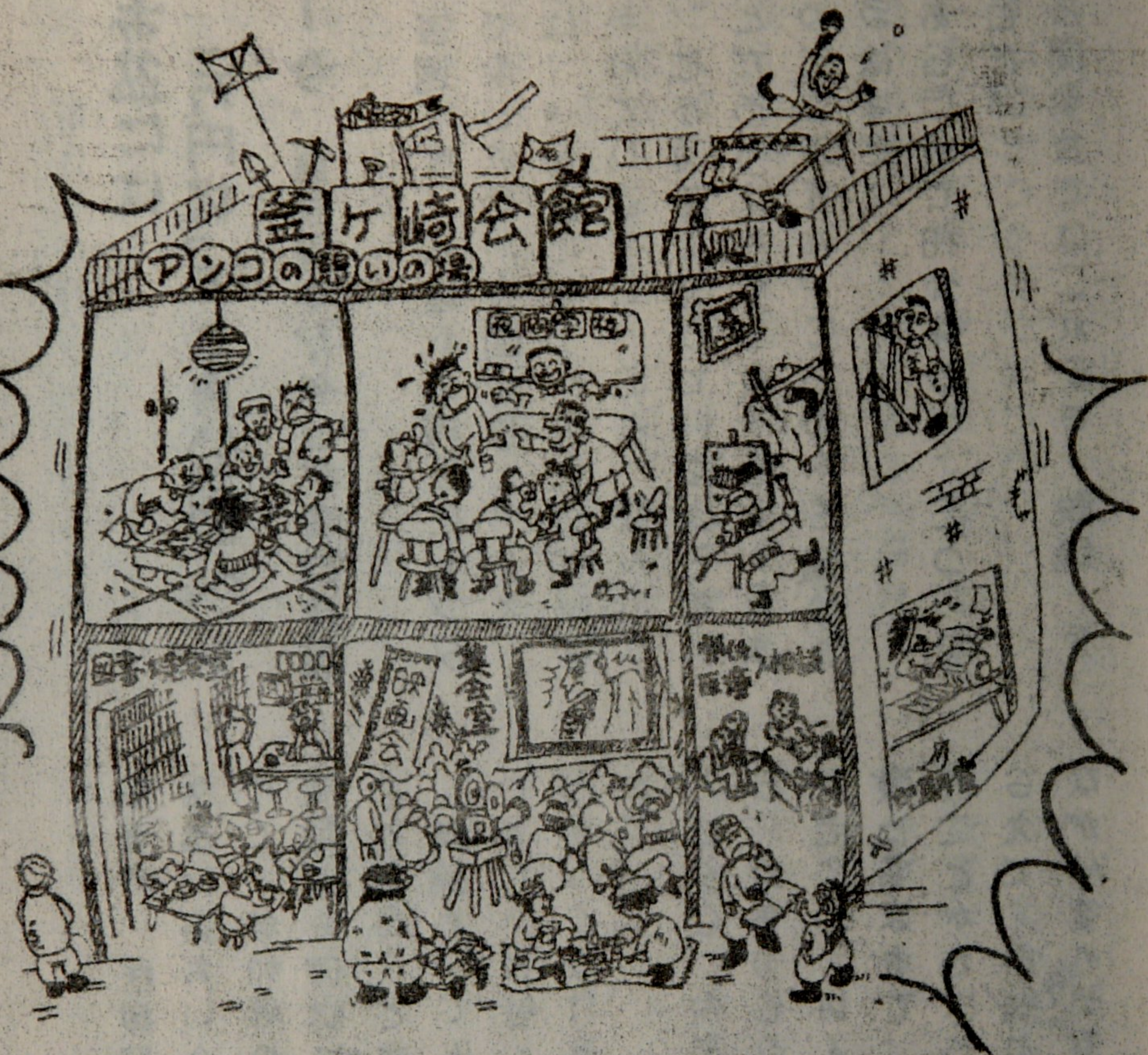


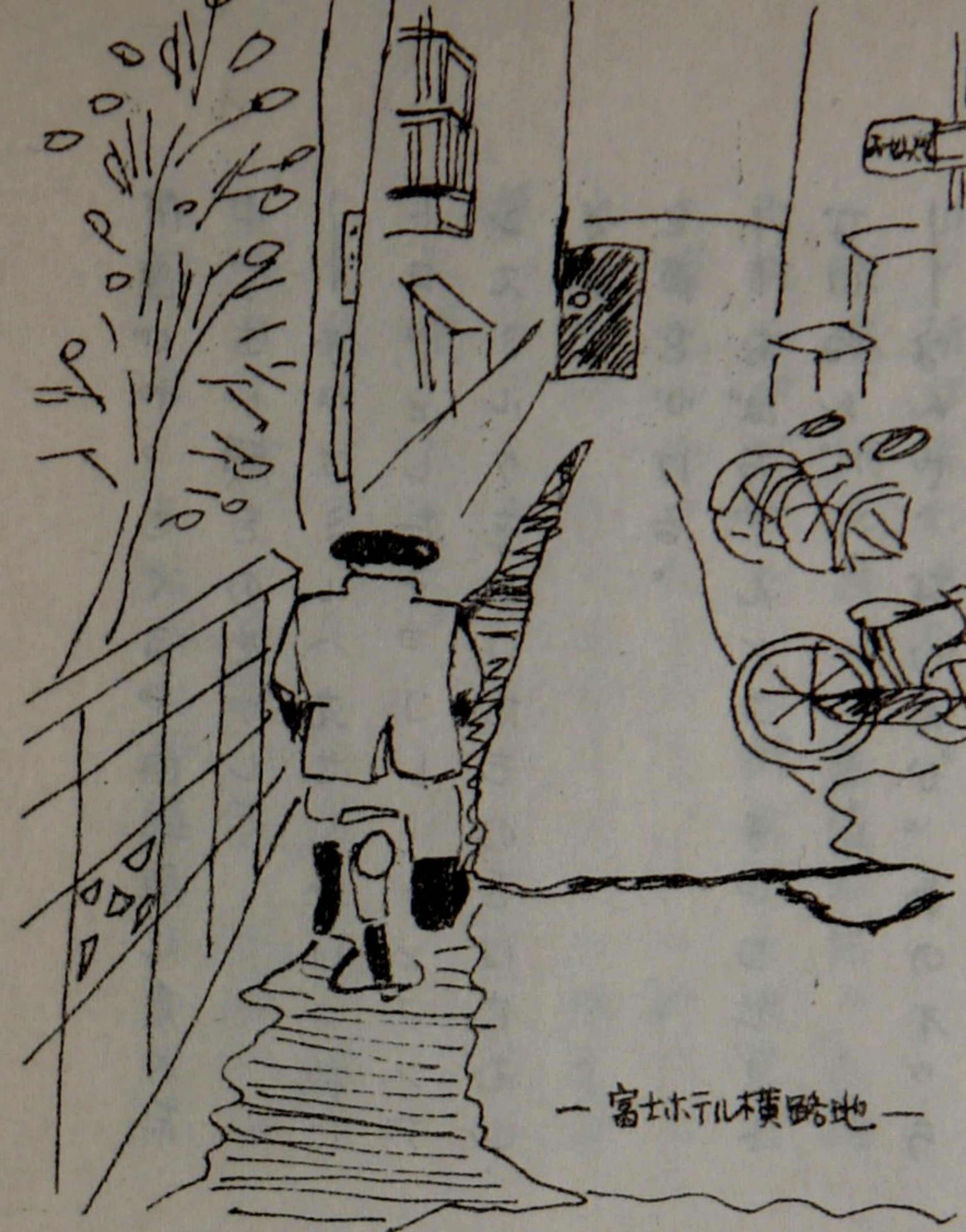


会館設立委員会 (大阪市西成区釜ヶ崎
ス丁目5-23
釜ヶ崎解放会館2F)

釜ヶ崎日雇労働組合 電話 632-4273

釜ヶ崎夜間学校

当務者渡世編集委員会



— 富士ホテル横路地 —

子供が何やら押し合いはじめて、
珠ちゃんの声がきこえない。
— なあー。ちゃんと聞いてえな！。
と両手を振り振り、地団駄ふあが、
勝手にしやべり始めた子供達の声は
中々止まりそうにない。(ゆみ子)

会館建設にカンパを!

払込通知票										払込票									
大口	千	百	十	千	百	十	千	百	十	大口	千	百	十	千	百	十			
大阪	2			5	3	6	4	3		大阪	2			5	3	6	4	3	
釜ヶ崎日雇労働組合内 「会館」設立委員会										釜ヶ崎日雇労働組合内 「会館」設立委員会									
(郵便番号)																			
払込人住所氏名										払込人住所氏名									
受付局日附印										受付局日附印									

この払込通知票は、郵便で送りますので、下部の欄を消さないよう特に注意してください。また、本票を折り曲げたりしないでください。(郵政省)

お盆には

一万円握って三角公園へ……

—今、話題集中!? 我らが会館建設

毎週一度、水曜か金曜日にセンタ
ーで配られる、夜間学校ニュース
には、お盆には……の文句が必ず
かかれていますので、これ、なんのこ
と、こそ思議に感じている人も多い
ことだろう。もちろん、それが意味
するところを知っている人も随分と
いるはずだ。

あらためて紹介すると、このよう
なことだ。

夜間学校ではこれまで、飯場、労

働条件、医療問題など、我々の日常
生活におおいかぶさる問題を取りあ
げて、参加者の体験や見聞をもとに、
問題点の確認と解決策、対応策を求
めて話合ってきた。

結論めいて出てくることは、た
いてい、團結であり、自分達もこ
つかりななければ、というものだっ
た。

しかし、何度、同じ言葉を言っ
ても、現実のものとはならない。

そこで、みんなが、毎日でも、気
楽に集まられて、話合い、身体を動か
すことが出来るような、場をここ
らえて、團結の中身や自分をも変え
ながら釜の問題の解決にとりくむこ

との必要がうかびでてきた。

一方、釜日労、爭議団においても、
過去の斗争、とりわけ越冬斗争をふ
りかえってみて、多くの目的に自由
に使える拠点の必要が確認されると
ころとなり、釜日労、爭議団の中に
、会館設立委員会、が設けられた。

釜ヶ崎夜間学校、労務者遺世編集
委員会、釜日労、爭議団の動きに
双手をあげて賛同し、設立委員会の
メンバーに加わった。

俺達の手で、俺達の会館をつくら
う、目標四千万円、一万七千人のう
ち四千人が一万円だせばすぐできる
五千円なら八千人だ。

今、裏表紙の絵のようなハンカチ

と知てぬぐいさこしらえて、一組千
円で買ってもらい運動をしている。
作ったのは千組だから、全部売れて
も百万円だ、これだけでは会館がで
きるわけではない。会館設立運動の
宣伝をしながら、少しでも金を貯え
ようという貧乏人の手工だ。

しかし、この千工も今の釜の状況
では……



今日、五月八日のことだが、こん
な顔した仲間が、フラ
フラしながら釜日労の
事務所に来てきた。

セデスを一度に二十錠飲んだけど死
なれへん、とないしょ……と。
救急車の隊員はよくやせとるな、と

驚きながら急救車に乗せていた。

今年の三月は、センターの統計上でも、月間求人数の多さで開設以来二番目というほど仕事はあったが、四月に入ってパツタリなくなった。

四月二五日、釜ヶ崎医療連絡会議と釜日労は、梅田・天王寺で二度目の青カン者実態調査をおこなった。

梅田で、つい最近まで白川工務店に居た、という人に出会った。その人の話では、去年も二月から八月までは梅田で雑誌をひろって売ったり残パンでシノいでいたそう。仕事が出はじめて八月月中旬から釜に帰り、しばらく白川へ現金で行ったあと飯場へ入った。また仕事が無くなった

ので梅田に来たという。

マア、こういう説明するだけヤボで、みんな、今の釜で金を集めるなんてどだい、無理な話、ということ、で一致する。

しかし、歯をくいしばって、今、作らなければならぬ。

千六百余名の反対署名を集めての反対運動にもかかれず、就労申告書は廃止された。(四名が公文書キ素、公防などで裁判中だが、公共事業が減り、建築・土木以外にも我々日雇の職域の拡大を考えなければならぬ時期であり、申告書の復活が求められる。)

冬の臨時宿泊所は年々減少され、

今年は廃止が検討されている、という話まである。

日雇健康保険も締めつけが厳しくなり、これも廃止が考えられているようだ。

我々はジリジリ殺されている。

国家財政を破タンさせた責任を棚上げしたまま、軍事費のみを増大させる政府・自民党・中曽根。

苦しいなかで、闇いながら、さらに大きく有効な闘いを準備するため、今こそ拠点を築きあげよう。

毒の事件のように、仲間がリンペンといわれてなぶりこころされることかないように、今を最後のドタン場として、たたかい抜こう。

あとがき

★労仲福祉センター・医療センターで二十組、三十組とハンカチが買われている他に、大

くの人からカンパも寄せられている。会館づくり、我々がカンバラネバもうしわけない。★今号の発行はひたすらアシムラにオンブ・感謝(ヤジ馬)

労務者遺世 第三七号

定価一〇〇円

一九八三年五月十五日

労務者遺世編集委員会

西成区萩之茶屋三六・三五

「お握り屋」気付